

小城市立 小中一貫校 芦刈観瀾校 学校便り 7月 6日号

# とも に



【文責】 校長：本村 正信 副校長：勝原 理

地域とのつながりが安全・安心な学校生活と豊かな学びを支える

## 【青少年育成会議・子どもセーフティネット会議】

夏休みを間近にした時期は、地域の皆さんといろいろな話し合いをする機会が増えます。6月21日は、「第2回芦刈地区青少年育成会理事会」と「第1回芦刈地区子どもセーフティネット会議」が行われました。「青少年育成会」は、芦刈地区において子どもたちの健全育成のため企画されたいろいろな取組について話す会議です。「子どもセーフティネット会議」は、芦刈地区の学校やこども園に通う



子どもたちの安心と安全を確保するため、学校やこども園がどのような取組をしているのか、情報を共有するための会議です。どちらも、町内の各種団体の代表者が多数出席され、子どもたちのために意見を出し合います。普段、当たり前のように安心して登校できたり遊べたりできるのは、多くの方々の包み込むようなまなごしのおかげなのだといつも感じます。そして、このような地道な活動の積み重ねが、子どもたちの安全・安心を支えていることも、改めて実感することができました。ありがとうございます。

## 【芦刈漁協の方々による海苔の授業】

また、6月28日には有明漁協青年部から9名の方々が来校されました。漁協の皆さんは、海苔作りをされている方々です。4年生が「あしこのタイム」(総合的な学習の時間)で取り組んでいる「海苔づくり」の説明・指導のために来ていただきました。説明には、電子黒板を使って写真や文を提示し、海苔の作り方を説明していただいた上に、海苔網を巻き取る機械を持ち込んでいただき、実際に作業の様子を教えいただきました。また、実際に製品化された海苔を子どもたちに試食させていただき、なぜおいしい海苔ができるのか、どんな苦労があるのか説明していただきました。海苔の網や機械を初めて見る子どもたちも多く、機械の大きさや海苔網の長さに驚きの声を上げていました。こういった学習は、芦刈ならではのものです。実物を見て、本物に触れ、名人の方々に話を聞くことができる。そこでしか学べない豊かな学びがこうしてできるのは、地域の方々のおかげだと感謝しています。



## 【小城市立図書館の方による読み聞かせ】

6月29日には、小城市立図書館の方々がお昼休みの時間を使って、読み聞かせをしてくださいました。小学部の児童たちを中心に、たくさんのおともたちが集まりました。大きな絵本を使っての読み聞かせや縦になが〜く伸びる本を使っての読み聞かせは、「読んだことあるよ」と言っていたおともたちの心もぐっとつかんで、本の世界に誘って行きました。おともたちは読み聞かせが大好きです。図書館祭りの読み聞かせはいつも満員ですし、地域の方々が行ってくださっている読み聞かせも、とても楽しみにしています。



## 1年生へのプレゼント

7月4日に「芦刈町には仕事上いろいろお世話になっているので…」と佐賀市の株式会社匠美建築工房にお勤めの岩本重男さんが、1年生へ「竹とんぼ」と「ぶんぶんごま」をプレゼントしてくださいました。

岩本さんは、佐賀市内の学校や小城市内の学校にも同じようにプレゼントをされているそうです。プレゼントをもらった1年生は、担任の先生から遊び方を教えてもらい大切に持ち帰り、自宅で楽しく遊んだそうです。本当にありがとうございました。



## お知らせいたします

先日、南校舎の外壁の部分に劣化が見つかりました。写真の○の部分です。現在すぐにかげらが落ちたり、はがれたりするわけではありませんが、市の教育委員会には報告し、万が一でもおともたちが近づいてけがをしないよう、コーンを設置するとともに、近くを通る際は十分注意するよう話しています。

場所は、校長室すぐ南の校舎で駐車場の入り口あたりです。来校される場合は、ご注意ください。



## 警報が出たときには

梅雨の終わりの今の時期、強い雨が降りがちです。警報等の発表に伴い、登校時間等が変更されるときは、学校からメールを配信いたします。特に、メールが来ないときでも場所によっては道路が冠水したり、水路があふれたりすることも考えられます。まずは、おともたちの安全を第一に考えいただき、無理して登校するのではなく、各家庭の判断で様子を見ていただくことも大切です。遅刻して登校する場合は、学校までご連絡ください。